ここが聞きたい

一般質問

1. 戸田　進一・・・・・・・・・P12

①小中学校の大規模校解消のために新設校の建設を

②よりよい幼児教育・保育をめざして

2. 榎本　博　・・・・・・・・・P12

①郷づくりと自治会について

3. 横山　良雄・・・・・・・・・P13

①小中学校及び学童保育所の施設整備計画について

②竹尾緑地の環境保全と有効活用について

③市営納骨堂の建設計画について

4. 髙山　賢二　・・・・・・・・P13

①包括的な支援体制の構築について

②市道の管理について

5. 八尋　浩二　・・・・・・・・P14

①大規模災害対策について

6. 尾島　武弘　・・・・・・・・P14

①新原・奴山古墳群内の施設等移転及び用地取得について

②地域商社「いいざい」と連携している産直施設について

7. 中村　晶代・・・・・・・・・P15

①学校及び公共のトイレについて

②おくやみコーナーの設置について

8. 石田　まなみ　・・・・・・P15

①市の防災計画について

9. 中村　清隆　・・・・・・・・P16

①市がん検診事業について

②市の社会体育の現状について

③市職員の人員配置と時間外勤務について

10. 蒲生　守　・・・・・・・・P16

①幼児教育・保育の無償化の対応について

②タクシーの利用について

③学校施設の整備について

11. 田中 純子　・・・・・・・・・P17

①子育て支援について

12. 下山　昭博・・・・・・・・・P17

①まちづくり基本構想の計画策定の背景に記載されている課題等の今後について

13. 福井　崇郎・・・・・・・・・P18

①市の防災・減災について

②子どもの学習環境の整備及び活用について

③市の観光戦略について

一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。
質問者ごとに一般質問を録画配信しています。公開は、各定例会後の4年間です。
（検索方法は19ページに掲載）

福津市古墳キャラクター
ふんちゃん

戸田　進一

質問 大規模校解消のため新設校建設を

答弁 年明けに新設校建設等含めた原案を提示する

問 児童生徒数の増加で、福間南小や福間小では、中休み・昼休みにおける運動場使用に制約が生じている。福間南小は、全学年が一斉に遊べず交代制である。大規模校の現状はどうなっているか。

答 職員室の拡張などをしているが、校長先生の学校運営マネジメントが大切な要素となっている。

問 今後の児童生徒数の予測はどうなっているか。

答 児童生徒数のピークは、福間南小は令和7年度で1682名、福間小は令和10年度1850名、福間中は令和13年度で1811名。さらに令和20年度では福間南小は977名、福間小は1342名、福間中は1424名である。

問 ピーク時は、3校とも適正規模校の倍以上の数である。しかも、ピーク後漸次減少するものの、20年後においても過大規模校は続き解消されない。よって、部分的な校区変更やスクールバスの活用などで改善が図れる規模でないと考える。小中学校それぞれに新設校が必要と考えるが、見解は。

答 年明けには、新設校建設等も含めた原案を提示し、保護者や地域のみなさんと話し合っていく。

手狭な運動場は、交代で使用

榎本　博

質問 分別収集で質問書が出ていると聞くが

答弁 その件については承知している

問 自治会未加入者に対する分別収集ゴミ搬入禁止問題で、市長と担当窓口の回答に違いがあると質問書が出されているが、市の見解は。

答 質問書には、分別収集に関わる交付金について、市が直接自治会へ交付金という文言になっていた。「市は郷づくり推進協議会に直接交付」と回答したもので、大きな食い違いはないと認識している。

問 分別収集会場への搬入について自治会未加入者が搬入できないことは違法である。市長はすべての住民が搬入できるようにすると回答しているが、市の見解は。

答 自治会未加入は大きな課題として捉えている。3月、4月の自治会長が集まる場で説明してお願いしていきたいと考えている。

問 ある市民から「区長制度の時、自治会活動として子ども会や婦人会へ信頼関係で補助し、自主自立を尊重していた。条例や監査のチェックだけでは息が詰まり、展望希望が無くなってしまうのでは」との意見も聞いている。行政、市民、議会が一体となって対話による「地域づくりフォーラム」を開催し、問題を解決してはどうか。

答 貴重な提案だと思う。意見・助言を頂きながら考えていきたい。

子供会と連携し分別収集する自治会

質問 児童生徒の過密は校区再編を第一に

答弁 児童生徒数の推計に基づき選択肢として検討

問 学校施設等は、長期的視点に立った整備計画を作ることが望ましいと考えるが、そのような視点はなかったのか。

答 福間駅東土地区画整理事業や西福間のシーサイドパーク海岸通りの開発により、福間中学校区の児童生徒が予想以上に急増し、福間小と福間南小が過大規模校となっている。一番の要因は、状況を想定した学校施設整備計画を作成することが出来なかった。ここ数年リース校舎で対応しているが、今後も増加の見込みがあり、中長期的な児童・生徒数の推計値に基づき学校教育施設基本構想を策定中。

横山　良雄

市街地に唯一残る竹尾緑地公園

▼竹尾緑地環境保全と有効活用

問 自然公園としての価値を高めつつ、遊歩道の敷設や子どもの遊び場、高齢者の憩いの場などの有効活用を視野に入れ、見通しの良い公園にとの要望があるが、考えは。

答 公園管理者として、市民の意見を聞きながら適切な判断をする。

▼市営納骨堂の建設計画について

問 納骨堂建設は、場所、予算、交通や環境を配慮し、十分な市民説明をした上での合意済み計画か。

答 計画策定後、利用者説明会を開催し十分な周知と理解に努める。

質問 包括的な支援体制を構築すべき

答弁 今後、全庁的に取り組む事業と認識している

問 平成30年の社会福祉法改正で、包括的な支援体制の整備をすることが市町村の努力義務とされた。市の地域福祉計画でも令和3年度までに包括的・総合的支援体制を確立するとあるが、取り組みは。

答 介護は地域包括支援センター、生活困窮は福祉課、子育ては次年度開設予定の子育て世代包括支援センター、障がいは基幹相談センター設置を検討中。これらの相談者に対し、幅広く相談を受け止める体制を検討中である。

髙山　賢二

問 地域福祉に関する課題解決は、待ったなしの状況である。すでに国の補助を受け取り組んでいる市町村もある。スピード感を持ち、市の実情に合った包括的な相談支援体制を構築すべきではないか。

答 地域福祉計画との整合性を図り各部署を縦割りにならないよう全庁的に進めていく。

一人ひとりに寄り添った支援を

▼市道の管理について

問 基本構想に「地域の課題を解決しながら魅力ある住みやすい地域をつくる」とある。市道の未舗装解消や道路改良の今後の計画は。

答 優先順位をつけ、地域の要望実現が可能となるよう努める。

八尋　浩二

質問　大規模災害対策について

答弁　各課題等を慎重に検討する必要がある

問　二級河川やその他の河川の護岸は、どのように点検されているのか。

答　日常の業務の中で現場に出向いた際に目視で確認をしている。また、大雨等で被害が想定される箇所については、降雨時・降雨後の巡回で点検をおこなっているが、点検体制も何らかの形で改善する必要があると思っている。

問　停電が長期に渡った時に、指定避難所や広域避難所の大型発電設備の設置を考えているのか。

答　供給体制を整えるためにもレンタル業者や燃料業者との連携を整え、防災協定の締結も考えている。

問　避難所が被災した場合、市民の行動の周知と食料物資等は、どのように考えているのか。

答　近くの避難所が使えない場合は消防団やマスメディアを使って周知をしたい。食料物資等は、7200食分を用意しているので不足している避難所に配る。

問　電線等の地中化工事は将来に向けて整備予定があるのか。

答　予定はないが低コスト化整備手法の研究、路線の選定、事業者との協議など検討する必要がある。

西郷川河原橋付近に大雨によりできた穴

尾島　武弘

質問　津屋崎カントリー施設移転の影響は

答弁　米麦生産農家に大きな負担になると認識

問　カントリー施設の移設に伴う解体が、令和3年度末から1年遅れるようだが、移転費の国、県、市の負担割合はどうなるのか。

答　国の文化庁と県の世界遺産室と協議し、国80%、県8%、市12%の負担割合は変わらない。

問　新たなカントリー施設の建設費総額は26億円。JAの負担額は15億8千万円以内と大きな負担を強いられるが知っているか。

答　JAの負担額は知っているが、光岡の新しい施設の利用料は値上げするという話は聞いていない。

問　移転に伴い稲作をやめるという方や、運搬に関係する料金が発生し、農家負担になるなどのデメリットを市は認識しているか。

答　津屋崎の米麦生産農家には大きな負担になると認識している。

▼地域商社と産直施設について

問　あんずジャムや鯛塩ラーメンなど、お中元やお歳暮用の詰め合わせセットはないのか。

答　商品開発・全国流通を今後検討。

問　地域商社との連携状況は。

答　さらに連携を深めていく。

世界遺産内の津屋崎カントリー施設の解体は令和4年度予定

質問 学校や公共施設のトイレの改善は

答弁 長寿命化計画に基づき順次行っていきたい

問 市内の小中学校や公共施設のトイレの現地調査を行った。どの施設も洋便器や多目的トイレの数が未だ少ない。その上、中には電気がつかない、水が流れないなど故障中のまま放置されている状況があった。改修や改善の予定は。

答 現在、市内の小中学校の洋便器率は約45％。長寿命化計画の中で更に進めていく予定であるが、新校舎の建設が喫緊の課題であるため、既存のトイレの改修には時間がかかると思われる。故障中の多目的トイレ等に関しては調査の上、必要に応じて対応していきたい。イベント会場となる公共施設に関しても指定管理者に確認し、対応していきたい。

中村　晶代

電気がつかない多目的トイレ

問 公共施設を利用している高齢者から「トイレの中の荷物をかけるフックが高すぎて届かない」との声が多数寄せられているが。

答 併せて調査し検討をしていく。

▼おくやみコーナー設置について

問 昨年からの進展は。

答 先進地の別府市を視察した。市として、家族が亡くなった後の複雑な手続きを効率的に行う体制を整えている過程である。ホームページ等の改良も検討したい。

質問 市民が安心できる防災計画を進めて

答弁 地域防災推進員の設置で地域防災力を高める

問 今年で5回目を迎えた全市一斉防災訓練だが、各地域の様子と今後は。

答 訓練の内容によって地域では参加世帯数や参加人数に増減はあるものの、行事と合わせるなど工夫を凝らして取り組んでいる。各地域からの報告をまとめるだけではなく、取り組み事例として他の自治会や地域にも紹介していく。

問 市には避難所運営ゲーム（HUG）やクロスロードゲームの講習ができる団体がいる。日ごろからもっと活用すべきでは。

石田　まなみ

万一の際、安心できる体制を

答 地域防災推進員の設置を進めている中での活用や、市民向けの講座などに取り組みながら、講習ができる人材育成も考えていく。

問 災害にあった地域の報告を見ると、多様な意見を取り入れて成功している例がある。地域防災推進員も男女比率と半々にというのを目標にできないか。また災害時に避難所で最初に使用する仕切りなどの備品にも力を入れてはどうか。

答 状況にもよるが、地域防災推進員の男女比については今の社会上当然の問題と捉えていく。また備品等については、時間や予算などを考慮し、できる事からすすめる。

中村　清隆

質問 乳がん検診の受診率アップの対策は

答弁 個別検診が一つの方法だと考える

問 主要施策の成果報告概要の中で、市民が検診を受けやすい体制整備を行うとしているが。

答 市内の医療機関で個別検診の体制が整っているか、費用はどのくらいかかるか等を研究した上で、今後の方針を考える。

▼社会体育団体の現状について

問 営利目的の団体と、そうでない団体とで、何か規定はあるのか。

答 明確な基準がないので、つくり上げる必要がある。他市の状況もみて、目的や活動の整理をする。

問 学校施設の利用団体と、学校との情報共有や利用状況等、調整会議が必要だと思うが。

答 情報共有というところでは、考えていく必要があると認識。

問 学校施設予約の仕組みについて、活動内容の把握も含め、改善する必要があると思うが。

答 委託先とも協議をし、調査研究しながら改善していく。

▼市職員の人員配置について

問 非正規職員の災害活動従事は。

答 公務災害補償の関係で難しい。

乳がん検診マンモグラフィー　早期発見・早期治療を

蒲生　守

質問 タクシー導入、市民の利便性は

答弁 地域住民と一緒になって考えていきたい

問 建設環境委員会で視察を行った。（P9参照）千葉県市原市では各自治会の代表が交通網の検討をする協議会を作り、自分たちの利便性を考えた交通体系を構築している。市も導入してはどうか。

答 市がやれば定時定路線となり、地域で考えていただければ、地域の実情に合ったより良い運営方法ができると考えられるが、このことについてはもう少し研究し、地域に申し出をするか検討したい。

問 地域住民にとっては公共交通への関心が高い。関心が高いのだから住民のみなさんの意見でバス停の場所を決めて良いとする仕組みを作れば、利用しやすい公共交通機関になると思うが。

答 地域の声もいろいろあり、これまでも十分地域の声を反映して地域公共交通網を作ってきた。建設環境委員会の所管事務調査報告書は関心をもって拝聴した。視察市は本市の人口の約4倍程度の大きな市ではあるが、住民自治により公共交通を考えられている。

本市では、郷づくりを中心に地域住民自治が熟成されてきていることから、公共交通に関心を持つ方と一緒になって、公共交通網を地域住民と考える場を設けるといった新たなやり方は十分考えられるかと思う。

市原市のデマンドタクシー

質問　子育ち子育てを皆で応援するまちに
答弁　子ども子育て支援事業計画で取り組み中

問　エンゼルスポットの担う役割と位置づけは。

答　この施設は、地域や家庭の子育て支援機能充実のために開設した。就学前親子の子育てサロンや相談機能により、子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな成長を支援している。小学生が遊び、中学生や高校生が自主的に学習する集いの場で、年間1万5000人の利用が続いている市の子育て支援施設である。

問　エンゼルスポットとフクスタや子育て支援センター、のびのび発達支援センターの連携は。

田中　純子

福津市ＨＰより、エンゼルスポットはどこに

答　子どもの発達支援には、早期発見と適切な対応が重要で、それぞれの施設の連携が必要。スタッフが情報交換し、こどもの発達段階に応じた健康や成長を共有できる体制整備に努める。

問　フクスタの利用対象者や休館日の変更予定は。ミニバス利用時のサービスの周知については。

答　保護者の利用は今の段階では厳しい。休館日変更はできるだけ早く検討していく。ミニバス利用の小中学生は、行きは半額、帰りは無料となっている。広報紙やフクスタタイムズでの周知も必要。

質問　基本構想に表記された課題を問う
答弁　教育施設構想等に具体的内容を示す

問　福間南・福間・津屋崎小学校の児童数増加の課題解決について問う。

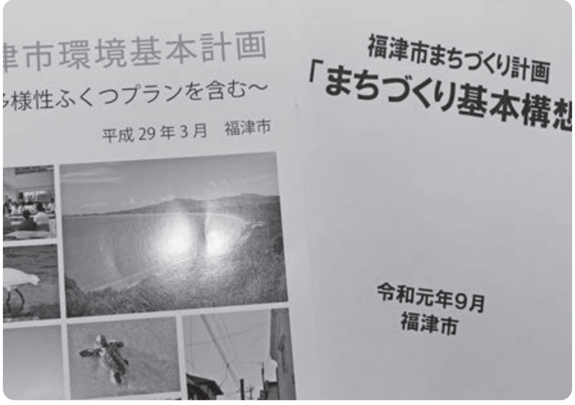
答　学校教育施設基本構想を策定し1月には方向性を示す。コミュニティ・スクールの継続、郷づくりの協力支援を配慮しながら新設校と校区再編も踏まえた内容で方針を決定する。

問　保育環境や幼児教育環境の課題解消について問う。

答　令和2年9月認可保育所2園（定員120名）開園、同年4月小規模保育施設（定員19名）開園する。

下山　昭博

その後は、保育需要の動向を見極めながら検討する。



まちづくり基本構想と環境基本計画

問　高齢者が活躍でき、健康に暮らし続けるための具体策を問う。

答　健康づくり、介護予防、社会参加等の支援体制を継続する。また地域包括支援センター、ささえ合い協議体、地域サロンの協力と活用を進める。

問　自然環境の目に見えないレベルの劣化について問う。

答　福津市多様な自然環境が、生活様式の変化により自然資源の利用減少したために劣化が進んだと考えられる。

福井　崇郎

質問 災害時の環境整備の方針は

答弁 災害に強い自治体・市政を目指す

問 相次ぐ洪水などの風水害、そして今後起きる可能性の高い震災など自然災害は待ったなしである。市の災害の対策及び平常時からの予防策を行うためにも、公用車に電気自動車を導入することで電源を確保していく考えはあるか。

答 停電時の電気の供給のため電気自動車は実効性がある。公用車の更新時のタイミングで数台から導入を検討する。

問 災害に立ち向かい、一人一人が自主的に動くための人材づくり、環境整備の方針は。

答 災害に強い、自治体・市政を目指す。同時に市民が助け合い助けられるための自治体を目指す。また、市・県・国とで信頼関係とそのネットワークならびに国へ要請していける体制づくりを行う。

▼子どもの学習環境の整備について

問 市の急激な人口増加により、小中学校の学習のための環境整備等は十分足りているのか。

答 市の人口推計をもとに児童生徒数の推計を行い、学級数の増加に対応できるよう実施計画調書を作成し整備している。今後も学習等に必要な備品を整備し、児童生徒の学習環境を確保する。

常日頃からの防災意識が大事

賛否表

結果	議員名／議案名	福井崇郎	森上晋平	秦浩	石田まなみ	八尋浩二	田中純子	中村晶代	尾島武弘	下山昭博	髙山賢二	中村清隆	蒲生守	横山良雄	戸田進一	榎本博	椛村公彦	米山信	江上隆行
可決	**議案第５９号** 福津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例を改正することについて	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	／

※議長は可否同数の時以外は表決に参加しません

○は賛成　●は反対　ーは欠席

下記議案については全員賛成で可決

議案第５０号	福津市一般職の職員の給与に関する条例を改正することについて
議案第５１号	福津市の議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を改正することについて
議案第５２号	福津市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例を改正することについて
議案第５３号	平成３１年度（令和元年度）福津市一般会計補正予算（第４号）について
議案第５４号	平成３１年度（令和元年度）福津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）について
議案第５５号	平成３１年度（令和元年度）福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第２号）について
議案第５６号	平成３１年度（令和元年度）福津市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）について
議案第５７号	平成３１年度（令和元年度）福津市公共下水道事業会計補正予算（第１号）について
議案第５８号	福津市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等を改正することについて
議案第６０号	福津市税条例を改正することについて
議案第６１号	福津市学童保育所条例を改正することについて
議案第６２号	福間小学校学童保育所の指定管理者を指定することについて
議案第６３号	福間南小学校学童保育所の指定管理者を指定することについて
議案第６４号	神興小学校学童保育所の指定管理者を指定することについて
議案第６５号	神興東小学校及び上西郷小学校学童保育所の指定管理者を指定することについて
議案第６６号	津屋崎学童保育所の指定管理者を指定することについて
議案第６７号	工事請負契約を締結することについて
発議第　５号	特別委員会の設置について（議会活性化調査特別委員会）